



一関市立室根中学校 校報

# 室中校報

令和8年度 第2号 R8. 4. 17

電話:64-2131

文責:大道篤史

## ☆生徒会対面式!! 学校生活を丁寧に説明

4月8日(水)5・6校時に生徒会対面式が行われました。1年生に中学校の生活や活動について理解してもらうため、昨年度とは異なる取組が多く見られ、生徒会三本柱の「昨日の自分を超越る」を意識した対面式となりました。

今年度から始めた縦割り清掃について、丁寧に先輩たちから新入生に伝え、その日の清掃から実践してくれています。

部活動紹介では、新入部員に一人でも多く入部してもらうため、技をたくさん披露してアピールしていました。2・3年生がしっかりとアピールし、室根中を盛り上げていきたいという熱い気持ちを感じた対面式でした。



## ☆室中生はボランティア活動を頑張ります

今年度、生徒会が力を入れて取り組んでくれているのがボランティア活動です。ボランティア掲示板を設置して、有志を募っています。人のために地域のために役に立つ心をどんどん持つ人が増えてほしいと思います。

4/11(土)にバイパスクリーン作戦(室根まちづくり協議会主催)には2年生 及川風香さん、小山幹人さん、佐々木ののさん、1年生の畠山大洋さんの4人が参加してくれました。ゴミ拾いと回収物の分別にしっかりと取り組みました。

月曜日には土日の強風で校舎周辺の枝木が散乱していたので、生徒会で急遽ボランティアの呼びかけをしたところ、20人を超える人たちが協力してくれました。素晴らしい動きでした。これからも室中生のボランティア精神を期待しています。



# ☆生活・学習オリエンテーションから

4月7日（火）の2校時に生活・学習オリエンテーションを行いました。今年度は新たに「家庭学習の取り組み方」を含めた学習オリエンテーションも行いました。

【生活オリエンテーション】 中学校で生活するための決まり事を確認しました。登校してからのこと、授業や昼時間の過ごし方、部活動、服装、頭髪、持ち物、体育館の使用について等、確認しました。保護者の皆様にも特に確認していただきたいことは次の通りです。

- ・登下校時の送迎は南側駐車場のみ利用可。日中と 17:30 以降は西側駐車場も利用可（職員玄関前での乗降は、生徒の事故防止のためご遠慮ください）。
- ・熱中症対策としてTシャツの裾出し可とするが、全校が集まる場面などではシャツイン。  
※今年度から学校Tシャツは紺色になったので、白・紺の両方可
- ・スマホ、スマートウォッチ等学習に関係のないものは持ち込まない。どうしても必要な場合は、担任の先生に断り、登校後すぐ先生に預けること。
- ・友達の家などに自分だけで外泊してはいけないこと。

【学習オリエンテーション】 最初に校長から「なぜ学ぶのか」について話をしました。その後、小野寺教務主任から家庭学習の仕方について具体的に話があり、生徒も真剣に話を聞いていました。内容は以下の通りです。

## 学習オリエンテーション

「なぜ学ぶのか」\*\*\*\*\*

→ では「なぜ働くのか」\*\*\*\*\*

→ 自分に何が向いているのか & どんな仕事があるのか

「見つめる力」

→ 自分の適性を生かせる仕事にはどうやってつづけるのが良いか

「かかわる力」

例 社会体験

●企業で求められている人材とは

「知性」…「多様性の時代」だからこそ、答えのない「問」の答えを探し続ける能力

自分の頭で多角的に考え、他者と議論しながらあるべき方向を模索していく知性

→ 上級学校を目指す……その学校（高校、大学）はどういう生徒を求めているのか

特色推薦入試の割合が増加 = 「自分はこういう人間だ、こういうことが出来る」自己アピール

∴ だから「実体験が大事」 単なる知識はAIがすべてやってくれるので

→ AIを使いこなす能力 まなび方（どのように学んだのか、何で調べたか）を学ぶことが大事

●「変わり続ける時代」……全部を学校でも教えられない

→ 自分自身でAI等を使って切り開いていく力「自ら学び続ける力」

「見とおす力」

【今、中学生に必要なこと】

→ 学習計画を立て、自主勉強が大切

多様な能力・資質を評価する入試

∴新しいことを楽しく学び続け、好きなことや得意なことを総合的に結び付けていくこと

「かかわる力」

・自己を「見つめる力」

・他者と「かかわる力」

・目標達成に向けて、そして自己の将来について「見とおす力」

・以上3つの力を総合的に「生かす力」

の4つの力を意識して取り組むために「学び」の意識を変えることが必要。だから

◎日常の家庭学習の仕方を学ぼう。

## 家庭学習の流れ

1 帰りの会に「あゆみ」に家庭学習の計画を立てる。

月 日 (月)				月 日 (火)			
時間	教科	内容・その他	時間	教科	内容・その他		
1			1				
2			2				
3			3				
4			4				
5			5				
6			6				
教科	内容	時間	教科	内容	時間		
国	漢字マタ	30分	理	宿題	30分		
数	宿題	30分	社	ワーク	30分		
英	単語練習	30分	英	ワーク	30分		

2 家庭学習を行う。3教科90分以上。必ず一勉強ノートを1ページ以上やる。

3 一勉強ノートに学習内容と時間を記入する。

## 家庭学習の仕方(英語)

<宿題のある日>…早く終わったら自学に取り組む

- 宿題(30分)
- 宿題(20分) 復習(10分)
- 宿題(10分) 予習・復習(20分)

<宿題のない日>

予習・復習(30分)

1 予習

- 次の日の授業の単語の意味調べ…教科書の最後のページを使って、意味を調べ、ノートに書く。(意味が分かることと発音が分かることがあるので)
- (タブレットがあれば) デジタル教科書を使って、次の日の授業内容を聞いたり、まねして読んだりしておく。(前もって聞いておくと、授業の理解が深まる)
- 教科書本文をノートに書く。(各時間が遅い人は余裕を持てる)

2 復習

- 単語練習…その日に授業で習った重要語を10回ずつ。その週に習った重要語練習。単元の重要語練習。(一勉強ノートを使って書いて、手と目と頭で覚える)
- ワーク…その日に勉強したところ(左半分)
- 日本語訳…授業中にすべての文は翻訳しないので、自分で訳してみる。読むスピードと英文の仕組みが分かるうえに、身につく単語量が増えます。
- 音読…その日にやったところを5回声に出して読み、教科書に印をつける。(教科書を使って読んで、耳と口と目で覚える)